

ボネコ ディスク型 気化式加湿器 ディスクエバポレーター

家庭用
型式番号 **2055D**

取扱説明書

特長

- 自然な加湿—気化式
お部屋(空気)の乾燥具合に応じて適度の加湿を行いますので加湿しすぎることがありません。また、水をそのまま散布しないので、カルキなどで家具を傷める心配がありません。
- お部屋の空気を浄化
加湿と同時に、空気を浄化します。空気中のタバコの煙や花粉などの微粒子は、濡れた加湿ディスクに付着し、水槽に取り込まれます。
- 安心の抗菌システム
水槽内にセットされたシルバースティックの抗菌作用により、水中の雑菌を不活性化します。また、放出される霧状の水分粒子は非常に小さいので、雑菌が水分粒子に取り込まれてお部屋に放出されることはありません。
- 一日中(24時間)使用して、約12円
消費電力は23W/50Hz、20W/60Hz。
一日中使用しても電気代は約12円と、とても経済的です。(1kw/h=22円として算出した場合)
- 約35畳のお部屋までOK
最大約35畳のお部屋までご利用になれますので、広いお部屋でも加湿器を移動させる必要はありません。
- 水切れお知らせランプ
水槽の水が少なくなると自動でモーターが止まります。給水ランプが点滅することで、水が少なくなっていることをお知らせします。
- 周辺湿度を感知する湿度センサー付き
周辺湿度がひと目でわかるデジタル表示の湿度センサーが付いているのでお好みの湿度が設定できます。設定した湿度に達するとモーターが止まるため電気代の節約になります。



Made in Czech

Swiss Quality

この製品は、スイス・プラストン社により同社チェコ工場で製造されたものです。

このたびは、ボネコ 気化式加湿器をお求めいただき、誠にありがとうございました。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

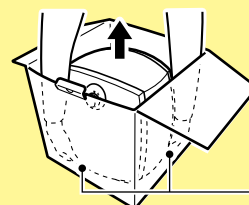
もくじ

安全上のご注意	1～2
知っておいていただきたいこと	3～4
開梱時の注意	5
各部の名称とはたらき	6
操作ガイド	7
使用手順	8～9
お手入れのしかた	10～16
故障かな?と思ったら	17
アフターサービスについて	18
仕様	裏表紙



注意

箱から取り出すときは、必ず水槽の底を持って取り出してください。本体上部だけ持って取り出そうとすると、タンクや水槽が外れてしまいます。



※5ページの
開梱時の
注意を参照

水槽の底を持つ

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

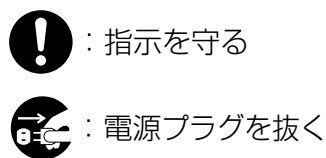
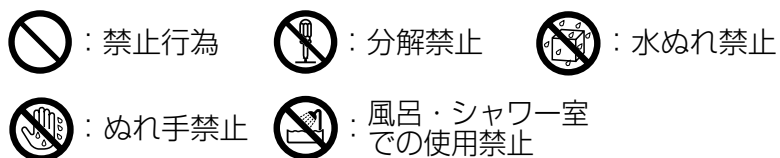
注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

4. 各注意事項には、「禁止」、または「強制」を促す絵表示が付いています。

この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

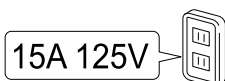
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

電源／コンセントについて

- 電源は交流100V (50/60Hz)で「15A 125V」と記されているコンセントからとる



- 取り付けの悪いコンセントは絶対に使わない
取り付けの悪い(ガタツキのある)コンセントや差込み口(刃受)のゆるいコンセントは、絶対に使用しないでください。感電や発熱の恐れがあります。

電源プラグ／電源コードについて

- 変形・破損している電源プラグ／電源コードは絶対に使わない
感電やショート、発火する恐れがあります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(18ページ参照)に、交換を依頼してください。
- 電源プラグ／電源コードが異常発熱している場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
運転中に電源プラグ／電源コードが異常に熱くなる場合は直ちに電源を切り(運転中止)、お求めの販売店または弊社サービスセンター(18ページ参照)にご相談ください。そのまま使用するとショートや発火する恐れがあります。
- コンセントや配線器具の定格容量を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない
たこ足配線などで、定格容量を超えると、発熱による火災の原因になります。
- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込む
不完全な接続は、感電や発熱による火災の原因になります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電する恐れがあります。
- 電源プラグやコンセントに付着しているホコリやゴミは、定期的に取り除く
ホコリやゴミが湿気を帯びると、ショートや漏電、発火などの原因になります。
- 動作中に電源プラグを抜き差ししない
運転中に電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・火災の原因になります。
- 運転の際は電源コードを解き、余っても束ねない
熱の逃げ場がなくなって高温になって発火する恐れがあります。
- 電源プラグ／電源コードを破損するようなことはしない
電源プラグ／電源コードは、大切に扱ってください。無理に曲げたり、物を載せたり、束ねたり、傷をつけないでください。傷んだまま使用すると、感電やショート、発火などの原因になります。

使用中／使用後について

- 本製品を分解したり、改造をしない
故障や発火の恐れがあります。

- お子様だけでは使わせない。幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。

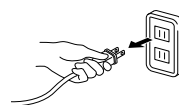
運転中について

- 異常が生じた場合は、使用を中止する
万一、異常が生じた場合は、直ちに電源を切り(=運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。異常な状態で使い続けると、事故や故障につながります。必ず、お求めの販売店または弊社サービスセンター(18ページ参照)までご連絡ください。

お手入れについて



お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く
感電・ケガの原因になります。



⚠ 注意

電源プラグ／電源コードについて



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って抜く
電源コードを無理に引っ張ると、破損する恐れがあります。



設置場所について



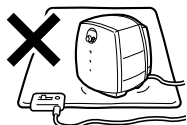
屋外や水／湿気の多い場所(部屋)、浴室で使わない
ショートや感電の恐れがあります。



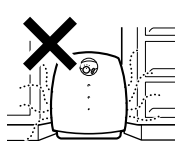
平らで安定のよい場所に置いて使用する
不安定な場所におくと、本製品が転倒し、けがや故障の原因となります。



テレビ、ステレオ、電気カーペットなど
電気製品の上で使用しない
水がこぼれると故障や感電の危険があります。



本体の両脇を家具などでふさがない
両脇の送風孔をふさぐと、風(湿った空気)
が部屋中に行き渡りません。家具などから
50cm以上離して設置してください。



ストーブなどの暖房器と併用する場合は離
して置く
故障の原因となります。



就寝時に使用するときには、風が体に直接当たらない場所
に置く
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。

使用中／使用後について



本体が転倒、落下したときには、使用せず、点検を依頼する
感電・ケガの恐れがあります。万一、本体が転倒・落下して
しまった場合は、直ちに電源を切り(＝運転中止)、お求め
の販売店または弊社サービスセンター(18ページ参照)
までご連絡ください。



小さなお子様が近くにいるときは、必ず付き添う
運転中および運転していないときもお子様加湿器のそば
にいるときは大人の方が付き添ってください。



長期間使用しない場合は、必ず電源プラグを抜く
絶縁劣化による感電・漏電・火災を防ぐために抜いてくだ
さい。



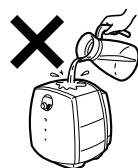
本製品を、他の用途や屋外で使わない
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使
用すると、けがや故障の原因となります。



空気吸い込み口から絶対に給水しない
故障や感電の原因となります。



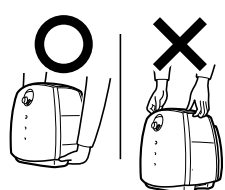
本製品に腰掛けたり、物を乗せない
けがや故障の原因となります。



タンクには水道水を入れる
断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水
などを使用すると、故障の原因となります。



持ち運ぶときは、底の水槽を持つ
上部のカバーを持つと、水槽が
落下し、故障の原因となります。



運転中について

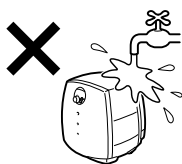


本体や操作パネルに水やジュースをこぼさない
万一、こぼしてしまった場合は、ショートや感電などの恐れがありますので、直ちに電源を切り、運転を中止します。その後、お求
めの販売店または弊社サービスセンター(18ページ参照)までご連絡ください。

お手入れについて



本体や、電源コード、電源プラグを水
につけたり、水洗いしない
故障や感電の原因になります。



一週間以上使用しない場合は、必ずタンクと水槽の水を
捨てる
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。



シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこ
すらない
抗菌効果が損なわれる原因となります。



お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因
となります。



洗剤やクレンザー、シンナー、金たわしなどは使わない



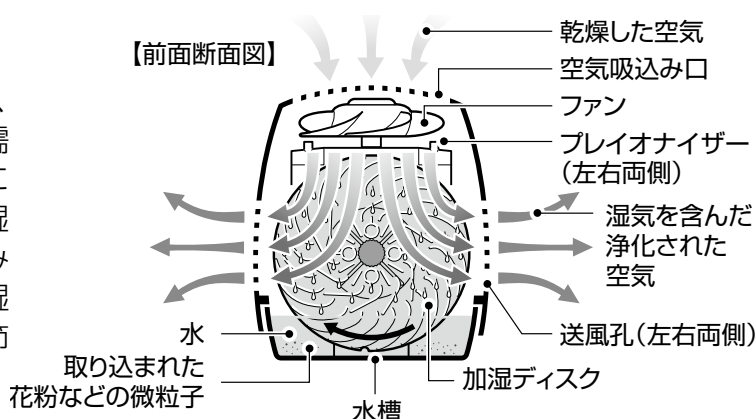
塩素系、酸性およびアルカリ性洗剤は使用しない

知っておいていただきたいこと

加湿の仕組みと主な特長をご理解いただき、本製品をより効果的にご使用ください。

加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるものではなく、16枚の加湿ディスク（プラスチック製）を水で濡らし、お部屋（空気）の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿器です。湿度センサーが付いているため、好みの湿度が設定できます（30～70%）。設定した湿度に達するとモーターが止まるため、電気代の節約になります。



電化製品や家具を傷つけません

本機は気化式なので、水道水に含まれるカルシウム分などを放出して、テレビ/パソコンの液晶画面や家具などを傷つける心配がありません。

“省エネ”設計です

水を気化するには“気化原理”を利用しますので、必要なエネルギー（消費電力）は、ファンおよびディスクユニットを回転させるモーター（定格：23W/50Hz、20W/60Hz）だけです。従来のスチーム式加湿器（消費電力250～350W）と比較すると約1/10以下の電力です。

安全設計です

スチーム式の加湿器のように熱い蒸気を発生させませんので、やけどの心配がありません。また、本体に空気を吸い込むためのファン（羽根）は、空気吸込み口のカバーを外さない限り触ることができません。

水槽に抗菌システムを採用しています

水槽内にシルバースティックを設置し、銀イオンの持つ抗菌作用で水中の雑菌を不活性化します。

シルバースティックの抗菌性能試験結果（財団法人 北里環境科学センター調べ）

試験菌名	不活性化効率
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%

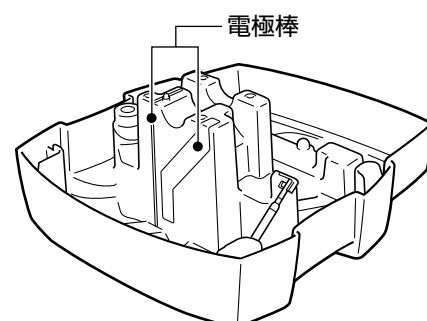
試験菌名	不活性化効
レジオネラ菌	99.5%
インフルエンザウィルス	99.6%

※データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

水槽の水が少なくなると自動でモーターが止まります

本機は、水槽内に取り付けした2本の電極棒に微弱電流を流すことで、水位をチェックしています。水槽内の水が少なくなると電気が通らなくなるので、自動でモーターが止まり、給水ランプが点滅します。

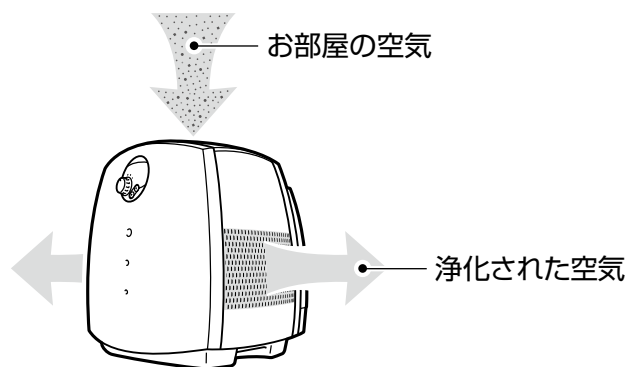
給水ランプが点滅している場合は、いったん電源を切ってからタンクに給水してください。



知っておいていただきたいこと（続き）

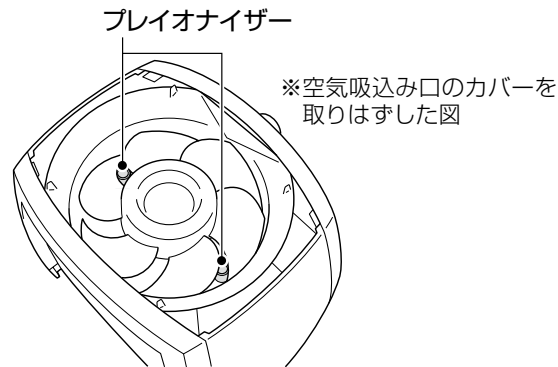
お部屋の空気を浄化します

空気と共に吸い込まれたタバコの煙や花粉などの微粒子は、加湿ディスク（16枚）の間を通過するときにディスク表面の水に付着し、水槽に取り込まれ水槽の底に沈殿します。そして、浄化された空気が室内に放出されます（下記データ参照）。



プレイオナイザーで空気中のホコリを除去

プレイオナイザーは、マイナスイオンを放出することにより、室内のホコリを帯電させ、ディスクに吸着しやすくします。空気中のホコリをより多く取り去ることでお部屋の空気が浄化されます（下記データ参照）。



注意 水槽に取り込まれた微粒子は水槽の底に沈殿しますので、「お手入れのしかた」（10～16ページ）を参照し、定期的にお手入れを行ってください。

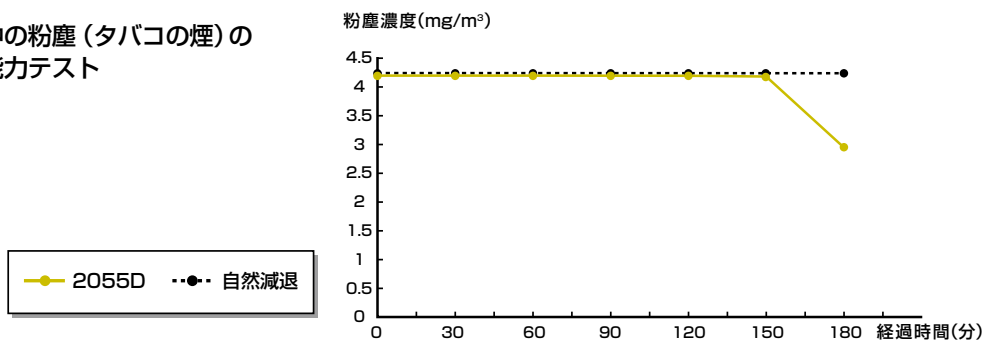
ディスクエバポレーター 2055Dの微粒子／ガスの除去性能試験結果

（財団法人 北里環境科学センター調べ）データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

■ タバコの煙（粉塵）を用いた濃度測定結果

経過時間(分)	0	30	60	90	120	150	180
粉塵濃度(mg/m ³)	4.19	4.19	4.19	4.20	4.20	4.13	2.92

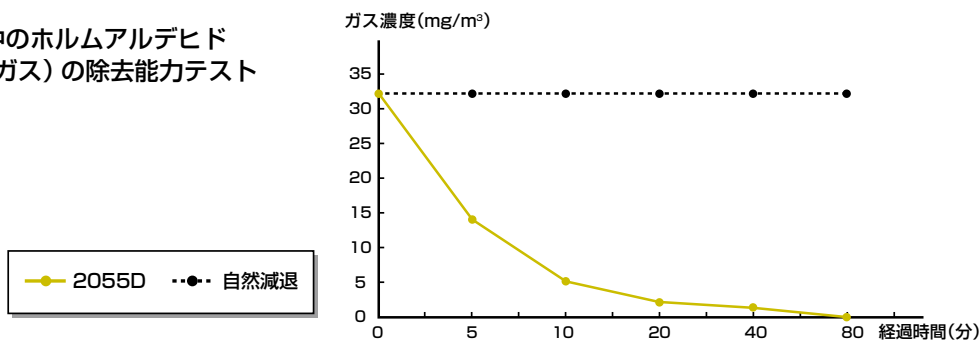
空気中の粉塵（タバコの煙）の除去能力テスト



■ ホルムアルデヒド（無色ガス）を用いた濃度測定結果

経過時間(分)	0	5	10	20	40	80
ガス濃度(mg/m ³)	32.8	13.6	5.6	1.9	1.0	0.5

空気中のホルムアルデヒド（無色ガス）の除去能力テスト

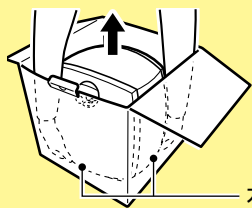


開梱時の注意

最初にご使用のときは、製品を箱から出し、まず以下の点を確認してください。

箱から取り出すときは、必ず水槽の底を持って取り出してください。本体上部だけ持って取り出そうとすると、タンクや水槽が外れてしまいます。

⚠ 注意



水槽の底を持つ

緩衝材 (段ボール全2枚) を必ず取り除いてください

ディスクユニット (加湿ディスク16枚) を輸送中の衝撃から守るため、水槽の内部に緩衝材として段ボール (全2枚) が入っています。ご使用前に、必ず全ての緩衝材を取り除いてください。

⚠ 注意

- 緩衝材を残した状態でご使用になりますと、ディスクユニットが回転できずに故障の原因となります。
- 緩衝材には、ディスクユニットに塗布した保水剤が染み込んでいる場合があります。保水剤は中性洗剤と同質なので、手などに付着した場合は水で洗い流してください。

シルバースティックが外れていたら…

水槽内に取り付けられているシルバースティックは、輸送中に外れることがありますので、止め具と共に所定の位置に取り付けてください。また、シルバースティックの先は、水槽内にあるスティック固定部に固定してください (右図参照)。

シルバースティックの変色は、問題ありません

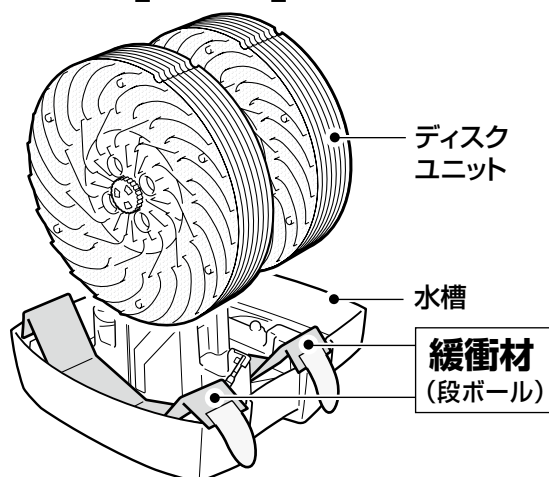
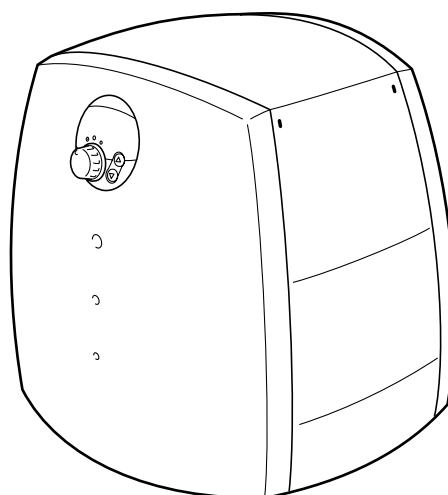
銀の特性でメッシュ部分がやや黒ずむ場合がありますが、性能／機能的に問題はありませんので、安心してご使用ください。

⚠ 注意

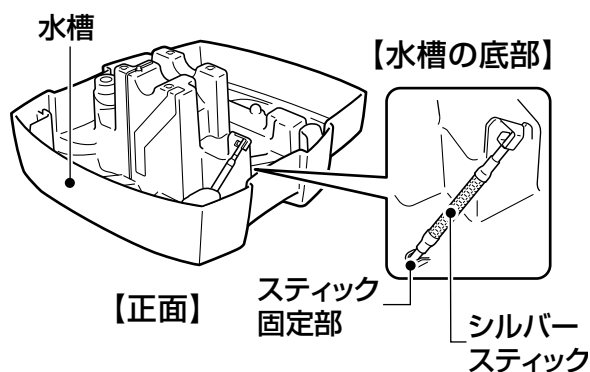
変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。

本体 (モーターカバー) を水槽に戻すときは…

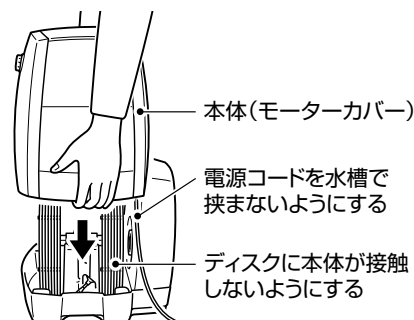
一度外した本体を再び水槽にかぶせる場合は、本体がディスクユニットに当たらないように、横から見ながら注意してかぶせてください。



【正面】



【正面】



各部の名称とはたらき

空気吸込み口 (カバー)●

ファンのお手入れの際にカバーを取り外すことができます (16 ページ参照)。

ファン／モーター●

室内の空気を取り込みます。

操作パネル●

好みの湿度設定やお手入れのタイミングをお知らせいたします (7 ページ参照)。

ディスクモーター●

ディスクユニットを回転させます。

本体 (モーターカバー)●

●タンク

水道水を入れ (最大量: 4.5L)、本体背面／水槽後部にセットします。

●栓

●カバー取り外し孔

空気吸込み口のカバーを取り外すときに使用します。詳しくは「V ファンのお手入れ」(16 ページ) をご覧ください。

●プレイオナイザー (左右両側)

空気中のホコリなどの微粒子を加湿ディスクに吸着しやすくします (4 ページ参照)。

●送風孔 (左右両側)

ここから湿気を含んだ風が出ます。

●電源コード

●プラグ

ディスクユニット●

16枚の加湿ディスクで構成され、水槽にセットします。

アロマスタンド●

市販の芳香 (アロマ) 剤を含ませた脱脂綿を中に入れたら、加湿時に香りを加えることができます。また、ディスク固定キャップの取り外し／取り付けにも利用します (14～15 ページ参照)。

水 槽●

タンクからの水がたまります。満水時は 2.5L 入ります。

持ち手 (左右両側)●

持ち運ぶときは、必ずここを持ちます。

●歯 車

モーターの回転をディスクユニットに伝えます。

●加湿ディスク

水槽内をゆっくりと回転します。ディスク上の凸部 (ウォータースクローラー) により水槽内の水を効果的にかき上げ、ディスクに保水します。

●芯 棒

●ディスク固定キャップ (両端に 2 つ)

●止め具

●シルバースティック

銀イオンの持つ抗菌作用で、水中の雑菌を不活性化します (3 ページ参照)。

●スティック固定部

シルバースティックが正しく水に浸かるように固定します。

操作ガイド

操作パネルについて

お手入れランプ●

お手入れの時期の目安をお知らせします。

プラグをコンセントに差し込むと時間が計測され、累積時間が約400時間（1日24時間のご使用を目安にして約2週間）後、点灯し、お手入れの時期の目安となります。

※途中でプラグをコンセントから抜き差ししても、累積時間はリセットされません。

シルバースティックランプ●

シルバースティックの交換時期の目安をお知らせします。

プラグをコンセントに差し込むと時間が計測され、累積時間が約12,000時間（ワンシーズン（4ヶ月）を通して1日24時間でご使用した場合を目安にして約4年）後、点灯し、シルバースティックの交換時期の目安となります。

※途中でプラグをコンセントから抜き差ししても、累積時間はリセットされません。

シルバースティックの寿命は約5～6年です。シルバースティックランプの点灯時間は、短めに設定してありますので、点灯後は、ご使用頻度に合わせて新しいものと交換してください。

電源スイッチ●

○：電源切

●：強

送風孔からの風量が強くなります。

●：弱

送風孔からの風量が弱くなります。

動作音が小さくなります。

●湿度表示

設定した湿度や周辺の湿度を表示します。

DESIRED：湿度設定ボタン操作時に点滅し、お好みの湿度を設定します。

CURRENT：運転時、現在の周辺湿度が表示されているときに点灯します。

●給水ランプ

給水のお知らせをします。

水槽の水が少なくなると、自動的に運転が止まり、給水ランプが点滅します。

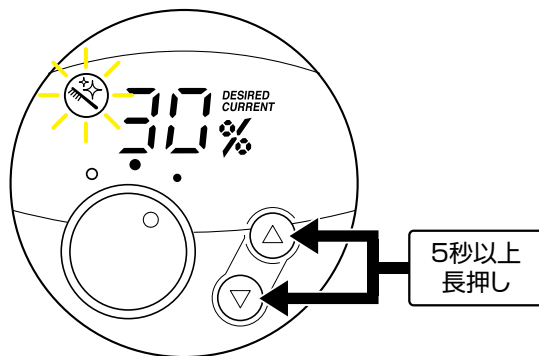
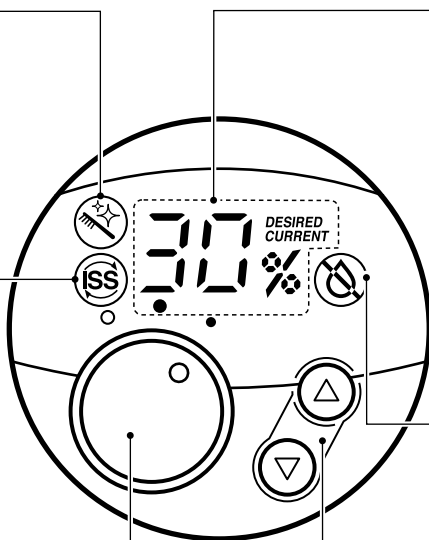
●湿度設定ボタン

30～70%の5%刻みでお好みの湿度を設定することができます。

△ボタンを押すたびに湿度が5%ずつ上昇し、▽ボタンを押すたびに湿度が5%ずつ下降します。

☒：連続加湿

△ボタンを押し70%の次に表示されます。お部屋の乾燥具合に応じて湿度40～60%の間で自動的に加湿します（湿度センサーは働きません）。



リセットのしかた

お手入れランプまたはシルバースティックランプが点灯し、リセットしたい場合は、両方の湿度設定ボタンを同時に5秒以上長押しをしてください。

（図はお手入れランプが点灯の場合を示しています）

ヒント 現在の湿度を確認するには…



電源が入ってなくても、湿度設定ボタンを押すと約3秒間現在の周辺湿度が表示され、運転の目安になります。

タンクに水を入れて本体にセットする

- ①タンクを本体から外す
- ②タンクの栓を開け、水道水を注ぐ
給水口一杯まで水を入れて下さい。
- ③タンクの栓をしっかりと締める
- ④タンクを本体にセットする
タンクを本体背面にセットすると、水槽に2.5Lの水が流れ込みます。
タンクと水槽を共に満水にした場合（合計約7L）は最大16時間以上（（強）で運転時）の連続加湿が可能です。



注意

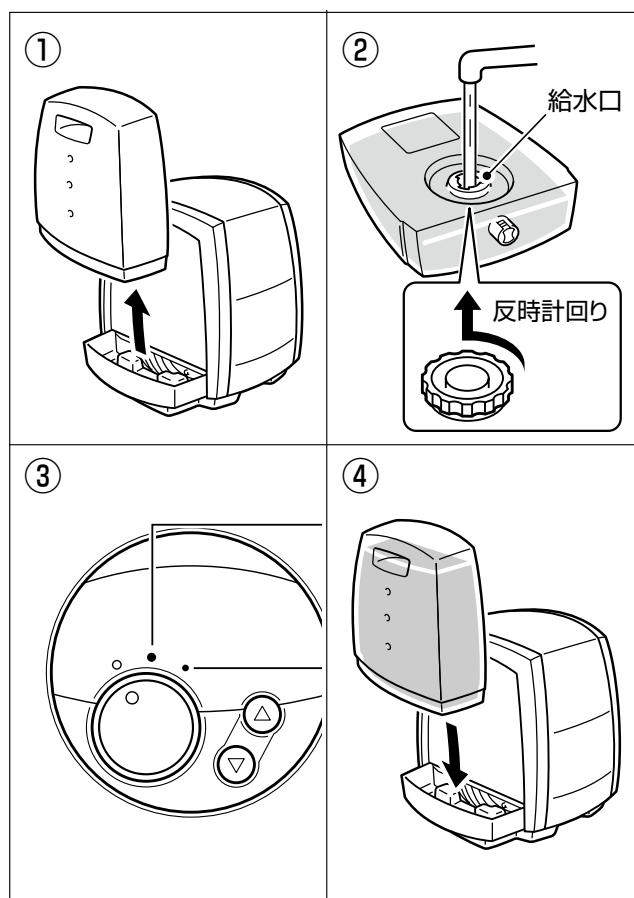
水やタンクに芳香（アロマ）剤を直接混ぜたり、赤水や井戸水を使ったりしないでください。製品（材質）が変色／変質し、故障の原因になります。








ヒント

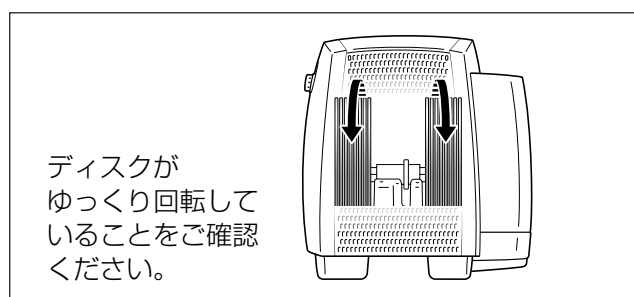
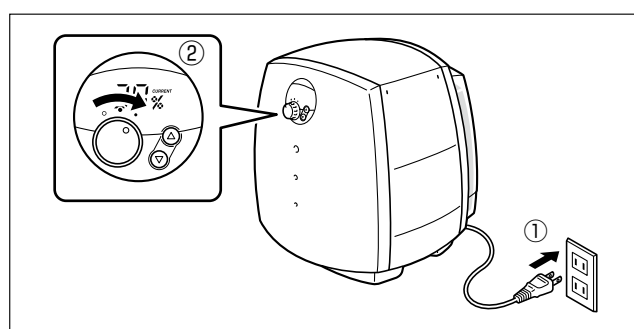


水槽内のアロマスタンドに、市販の芳香（アロマ）剤を含ませた脱脂綿をセットすると、送風孔から出る空気に香りを加えて楽しめます。




電源を入れ、お好みの設定で加湿する

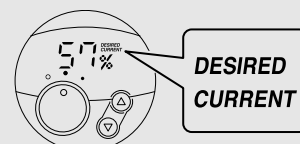
- ①プラグをコンセントにしっかり差し込む
- ②電源を入れる
電源スイッチを「●」（強）または「●」（弱）にセットします。
- ③お好みの湿度を設定する
運転が開始されると、操作パネルに周辺の湿度が表示されます。
電源スイッチを入れたら常に設定湿度が55%に設定されています。
30～70%までの湿度と「」（連続加湿・7ページ参照）が設定できます。
湿度の設定を変更したい場合は、 ボタンまたは  ボタンで、お好みの湿度を設定します。 ボタンを押すたびに湿度が5%ずつ上昇し、 ボタンを押すたびに湿度が5%ずつ下降します。



ヒント



電源スイッチを入れた際、周辺湿度が55%よりも高い場合、操作パネルには「DESIRED」「CURRENT」両方が表示され、運転しません。設定湿度を高くするか「」（連続加湿）の設定をしてください。



使用手順（続き）

停止する／電源を切る

①電源スイッチを切る

電源スイッチを○（切）に戻すと、ディスプレイ表示が消えてファンが止まります。

②プラグをコンセントから抜く



注意

一週間以上使用しない場合は、必ずタンクと水槽の水を捨てて、次回は新しい水で加湿してください。

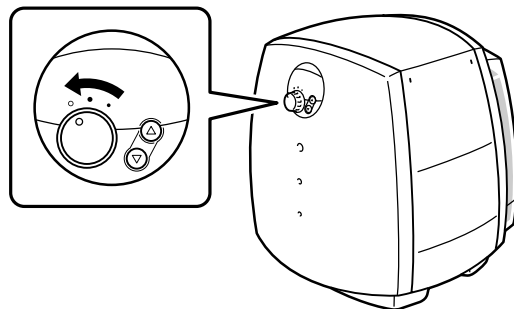
ヒント



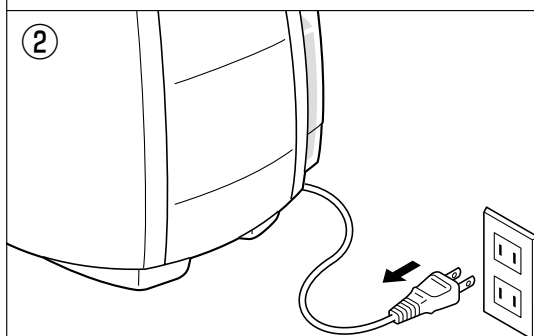
- 水槽の水が少なくなると、水槽内の電極棒に電気が通らなくなるので、自動でモーターが止まり、給水ランプが点滅します。給水は、電源スイッチを切ってから行うようにしてください。
- 給水タンクに水を入れたのに、給水ランプが点滅する場合があります。これは水槽に水がたまるまで少し時間がかかる（2～4分）ためです。水がたまると自動的に加湿を始めます。



①



②



使用中のファン／モーター音について

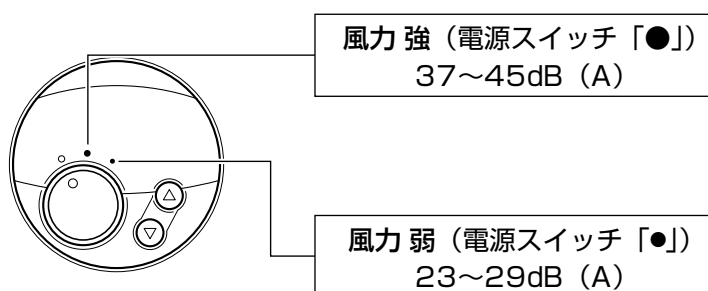
本製品の構造上、使用中にモーターの回転音やファンの風きり音がわずかに発生します。音に敏感な方や就寝時は、

1. 使用／設置する場所をできるだけ頭の位置から離す。
2. 電源スイッチを「●」（弱）にセットする —— をお試しください。

また、ファン／モーター以外の音がするときは、各部の組み立てや取り付けが不完全な場合があります。「故障かな？と思ったら」（17ページ）をご覧ください。

ディスクエバポレーター 2055Dの騒音レベル試験（JQA 財団法人 日本品質保証機構調べ）

- 風力 弱（電源スイッチ「●」）…23～29dB (A): 録音スタジオの静けさ、木の葉の擦れ合う音
- 風力 強（電源スイッチ「●」）…37～45dB (A): ささやき声、夜の住宅街



※データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

お手入れのしかた

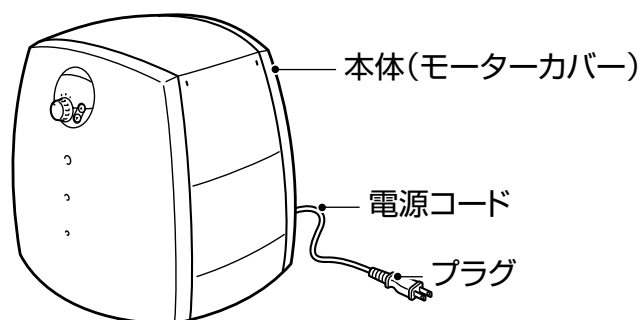
必ず下記のお手入れを定期的に行ってください。また、シーズンオフには、必ずお手入れをしてから保管してください。



注意

- プラグを必ずコンセントから抜いてください。
- クレンザー（研磨剤）やベンジン、シンナー、金たわしなどは、使用しないでください。
- 食器洗い機・乾燥機は、使用しないでください。

水洗いできないもの



乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

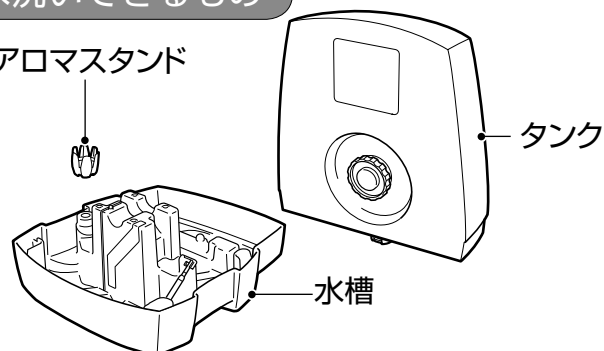


注意

空気吸込み口や電源スイッチなどに水をかけないでください。故障の原因になります。

水洗いできるもの

アロマスタンド



柔らかいスポンジと台所用中性洗剤を使って水洗いしてください。落ちにくい汚れは、酢3%の溶液（＝ぬるま湯1L＋食用酢 大さじ2杯）にしばらく浸し、スポンジで拭き取った後、よくすすいでください。

※シルバースティックとディスクユニットのお手入れは次項をご覧ください。

各部のお手入れ

各部のお手入れとその目安については、以下を参照してください。また、具体的なお手入れ方法については、該当するページを参照してください。

I 水槽のお手入れ（1週間に1度を目安）



11ページ

II シルバースティックのお手入れ（汚れが目立った場合）



11ページ

III ディスクのお手入れ〈かんたん編〉（1シーズンに1度を目安）⇒

12ページ

IV ディスクのお手入れ〈しっかり編〉（1シーズンに1度を目安）⇒

14ページ

V ファンのお手入れ（汚れが目立った場合）



16ページ

※ディスクのお手入れは1シーズンに1度を目安にⅢあるいはⅣのいずれかを行ってください。

お手入れランプはプラグをコンセントに差し込むと累積約400時間で自動的に点灯する設定になっており、あくまでもお手入れ忘れを防止する機能です。



注意

各部の分解／組み立てのときは、歯車や加湿ディスクなどを破損しないように注意してください。

お手入れのしかた（続き）

I 水槽のお手入れ 1週間に1度を目安に行ってください。

お手入れランプはプラグをコンセントに差し込むと累積約400時間で自動的に点灯する設定になっており、あくまでもお手入れ忘れを防止する機能です。

⚠ 注意 必ずプラグをコンセントから抜いてください。

1 本体から各部を取り外す

①タンクを上を持ち上げて取り外す

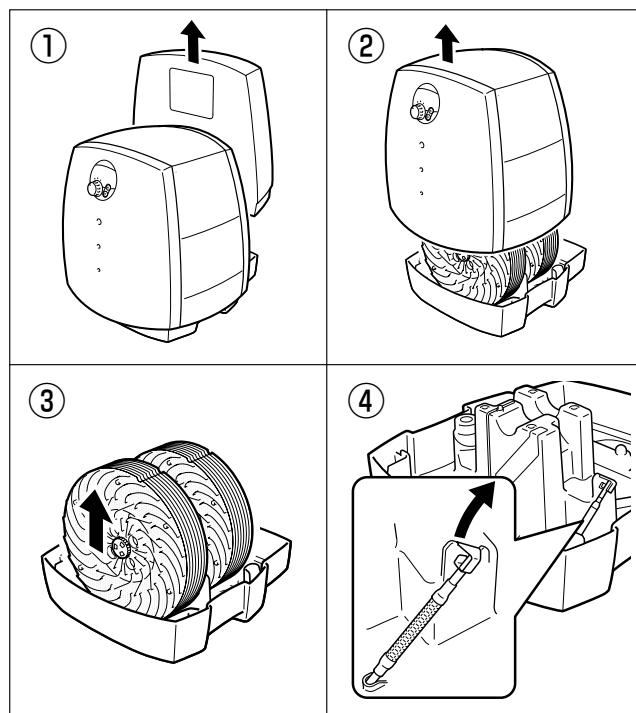
②本体（モーターカバー）を両手で静かに持ち上げる

このとき、ディスクに衝撃を与えないように注意してください。

③ディスクを取り出す

④シルバースティックを止め具から取り外す

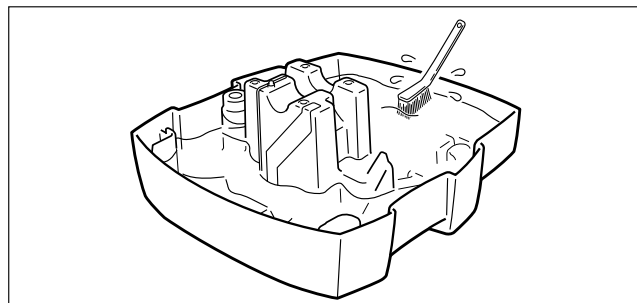
水槽内部に固定してあるシルバースティックを止め具から取り外します。



2 水槽内のゴミやホコリを取り除く

ブラシなどを使って、水槽内のゴミやホコリを取り除きます。

ヒント お部屋の空気に含まれていたゴミやホコリが水槽内にたまります。放っておくと異臭の原因になりますので、定期的なお手入れが必要です。

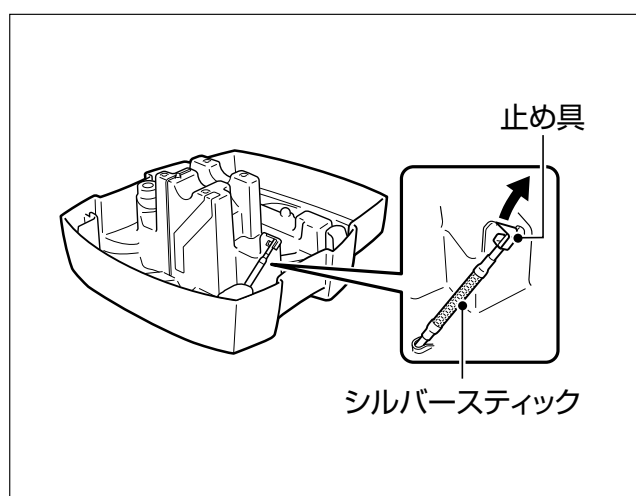


II シルバースティックのお手入れ 汚れが目立った場合に行ってください。

付着しているホコリやゴミを、水道水で洗い流してください。使用していくうちに銀の特性でメッシュ部分が黒ずむ場合がありますが、性能には影響しません（5～6年以上使用できます）。水槽のお手入れを行う前に、「止め具」から取り外してください。

ヒント シルバースティックランプが点灯したら交換時期の目安となります（シルバースティックランプについては7ページ参照）。

⚠ 注意 変色部分を、紙ヤスリや金ブラシなどでこすり取らないでください。抗菌効果が損なわれる原因となります。



●シルバースティック

シルバースティックの寿命は約5～6年です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。

型番 PL-SMS

価格 3,360円（本体価格3,200円、消費税160円、送料別）

お手入れのしかた（続き）

Ⅲ ディスクのお手入れ〈かんたん編〉

1シーズンに1度を目安に行ってください。

⚠ 注意 必ずプラグをコンセントから抜いてください。

1 本体から各部を取り外す

①タンクを上を持ち上げて取り外す

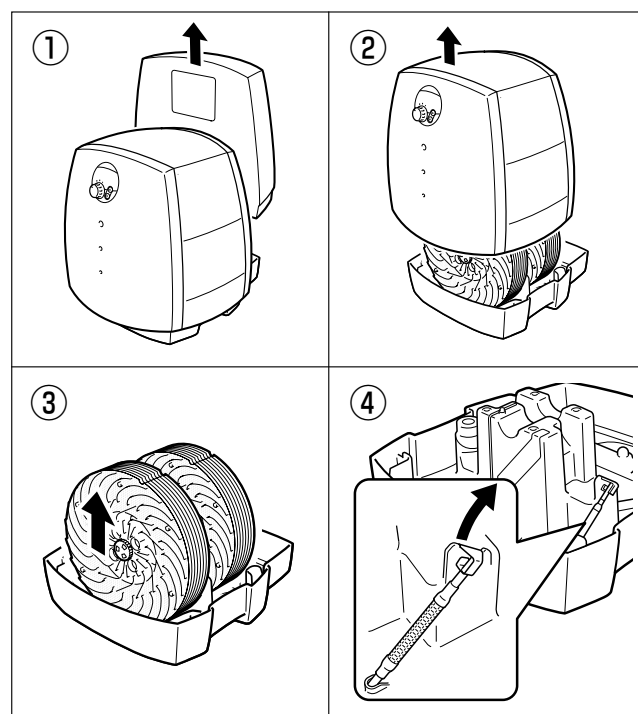
②本体（モーターカバー）を両手で静かに持ち上げる

このとき、ディスクに衝撃を与えないように注意してください。

③ディスクを取り出す

④シルバースティックを止め具から取り外す

水槽内部に固定してあるシルバースティックを止め具から取り外します。



2 水槽内やディスクに付着した石灰分を取り除く

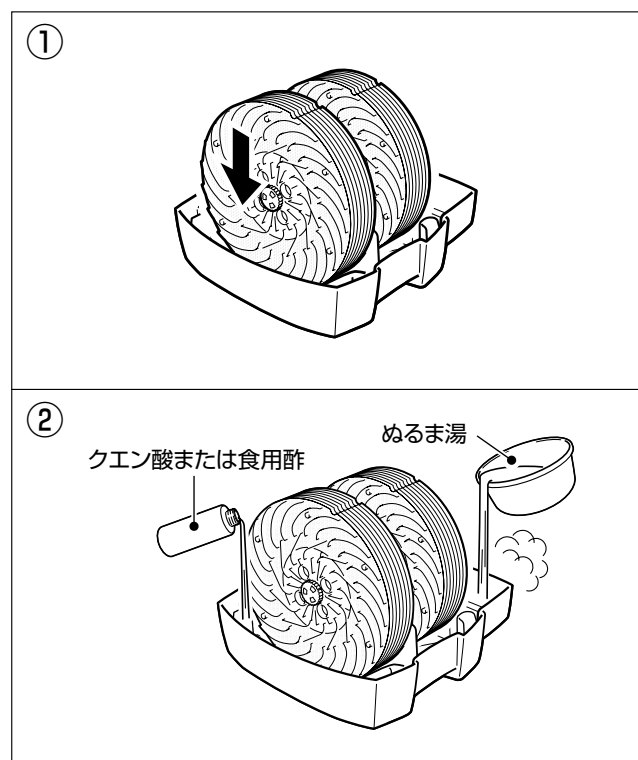
①ディスクユニットを取り付ける

②クエン酸30gとぬるま湯2Lを水槽に入れ、溶かす。または食用酢1Lと、ぬるま湯1Lを水槽に入れる

ヒント クエン酸を使用する場合…



クエン酸はお近くのスーパーや薬局でお買い求めください。また、市販のクエン酸100%のポット洗浄剤でもお使いいただけます。

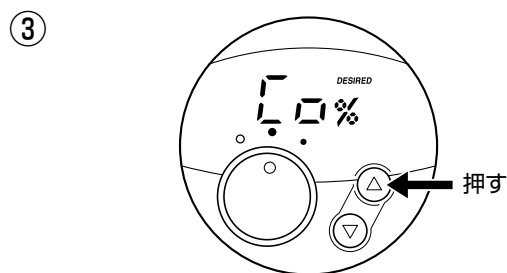
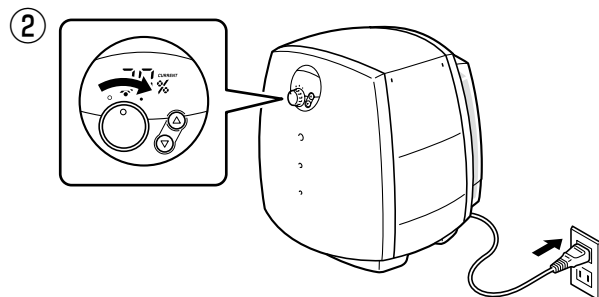
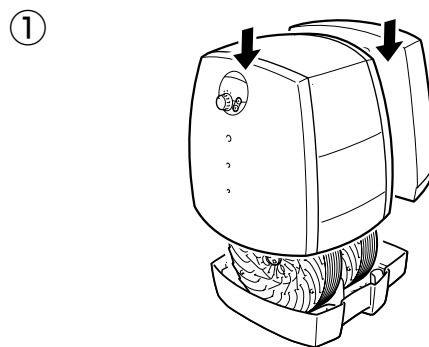


お手入れのしかた（続き）

3 十分に換気しながら本体を「強」で約2時間稼働させる

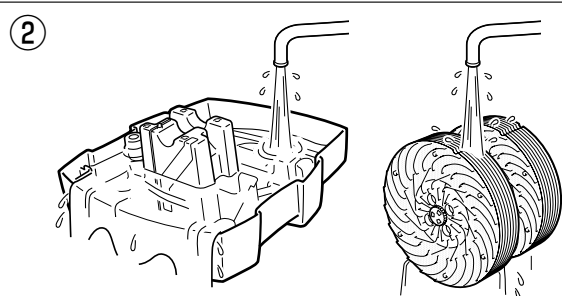
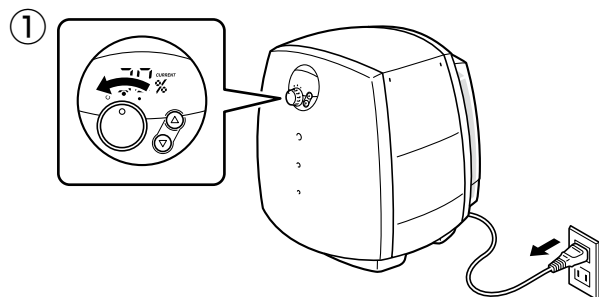
- ① 本体と空のタンクを取り付ける
- ② プラグをコンセントに差し込み、電源スイッチを入れる
- ③ 設定を「**100**」（連続加湿・7ページ参照）にする

このまま2時間ほど「強」で稼働してください。このとき、換気には十分に注意してください。



4 水槽を空にし、水槽と加湿ディスクを水道水で洗う

- ① 電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- ② 水槽の水を捨て、加湿ディスクとともに洗浄する



ヒント



- ディスクの白いくすみは、水に含まれる石灰分が付着したものです。石灰分が付くと、ディスクの表面積が増えて保水力が増し、加湿に有効ですので、完全に除去する必要はありません。
- 加湿ディスクに付着していた水の石灰分をきれいに取り除きますと、加湿能力がいったん下がりますが故障ではありません。1週間ほどの連続運転で加湿能力は元に戻ります。早めに加湿ディスクの保水力を上げるには、水槽の水に中性洗剤を2～3滴加えてください。
- しっかりと乾燥させてから収納してください。

お手入れのしかた（続き）

Ⅳ ディスクのお手入れ〈しっかり編〉

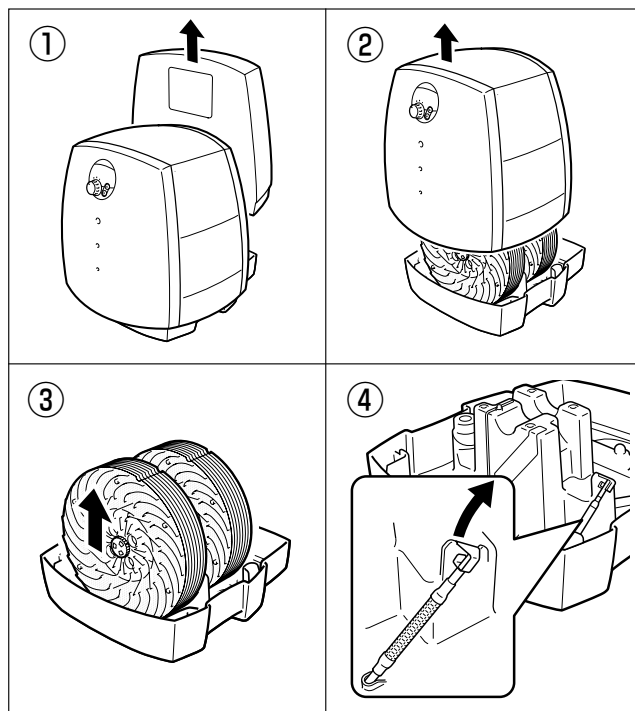
1シーズンに1度を目安に行ってください。

⚠ 注意 必ずプラグをコンセントから抜いてください。

分解の手順

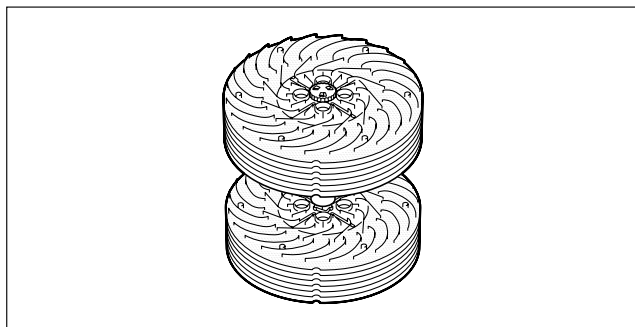
1 本体から各部を取り外す

- ①タンクを上を持ち上げて取り外す
- ②本体（モーターカバー）を両手で静かに持ち上げる
このとき、ディスクに衝撃を与えないように注意してください。
- ③ディスクを取り出す
- ④シルバースティックを止め具から取り外す
水槽内部に固定してあるシルバースティックを止め具から取り外します。



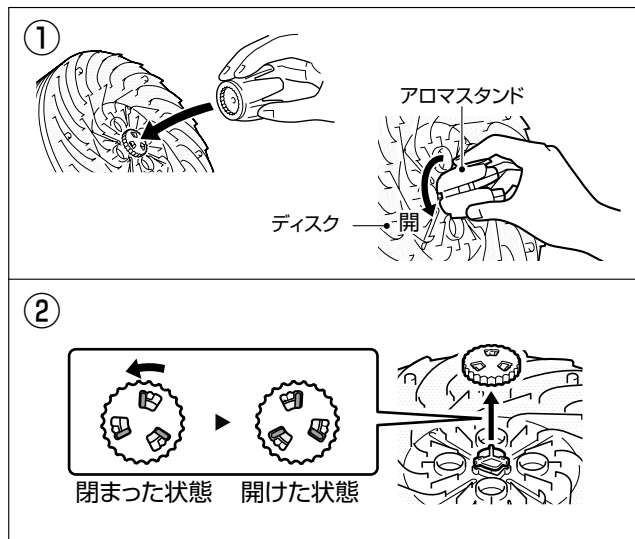
2 ディスクユニットを水槽から取り出す

ディスクユニットを水槽から取り出し、平らで安定した場所に置きます。



3 ディスク固定キャップを取り外す

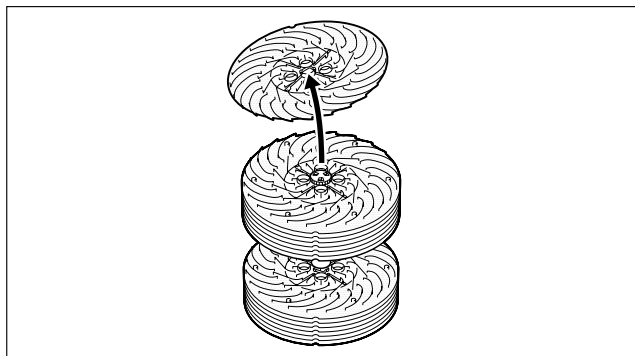
- ①アロマスタンドの裏をディスク固定キャップに合わせて、カチッという音がするまで反時計回りに回す
- ②キャップを外す
ディスク固定キャップは、アロマスタンドの裏側を利用することで、簡単に取り外すことができます。



お手入れのしかた（続き）

4 加湿ディスクを抜き取る

8枚の加湿ディスクを順に芯棒から抜き取ります。



5 手順3から4を繰り返し、反対側の加湿ディスク（8枚）を芯棒から抜き取る

柔らかいスポンジと台所用中性洗剤を使ってお手入れしてください。

落ちにくい汚れは、酢3%の溶液（＝ぬるま湯1L＋食用酢大さじ2杯）にしばらく浸し、スポンジで拭き取った後、よくすすいでください。

ヒント

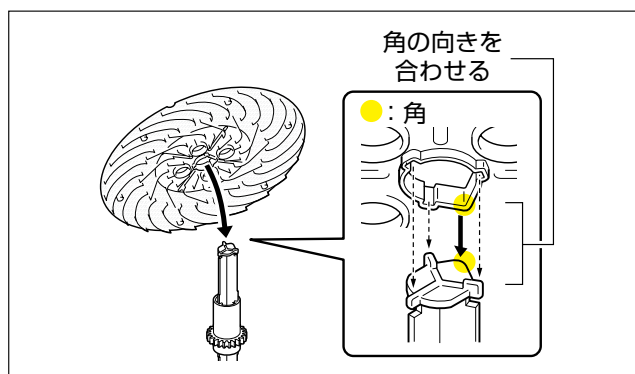


- ディスクの白いくすみは、水に含まれる石灰分が付着したものです。石灰分が付くと、ディスクの表面積が増えて保水力が増し、加湿に有効ですので、完全に除去する必要はありません。
- 加湿ディスクに付着していた水の石灰分をきれいに取り除きますと、加湿能力がいったん下がりますが故障ではありません。1週間ほどの連続運転で加湿能力は元に戻ります。早めに加湿ディスクの保水力を上げるには、水槽の水に台所用中性洗剤を2～3滴加えてください。

組み立ての手順

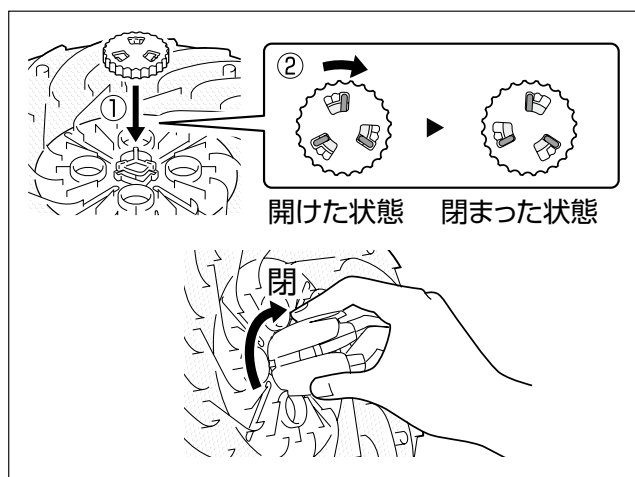
1 加湿ディスク（8枚）を取り付ける

- ① 芯棒を立てる
- ② 加湿ディスクの穴の角と芯棒の角を合わせて差し込む



2 ディスク固定キャップを取り付ける

- ① ディスク固定キャップを芯棒にはめ込む
- ② アロマスタンドの裏を使ってカチッという音がするまでキャップを時計回りに回し、キャップを取り付ける

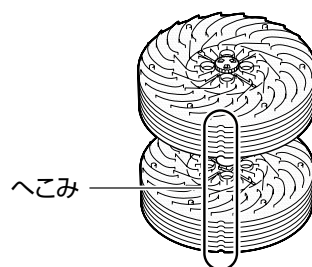


お手入れのしかた（続き）

3 手順1から2を繰り返し、反対側の加湿ディスク（8枚）を取り付ける

4 縁のへこみを確認する

16枚のディスクの取り付けが終わったら、ディスクの縁のへこみが1列に揃っていることを確認してください。
しっかりと乾燥させてから収納してください。



V ファンのお手入れ 汚れが目立った場合に行ってください。

空気吸込み口のカバーを外し、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

⚠ 注意 ●必ずプラグをコンセントから抜いてください。
●お手入れ時以外は絶対にカバーを取り外さないでください。

1 空気吸込み口を取り外す

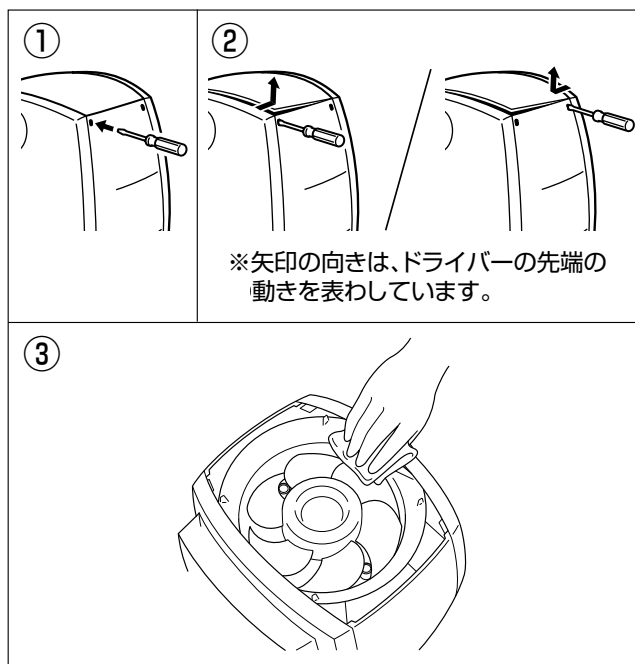
①カバー取り外し孔に⊖ドライバーをまっすぐ差し込む

②ドライバーの先端を少し内側に押し、上に持ち上げ、カバーを外す

残り全てのカバー取り外し孔で、①～②の操作を繰り返します。

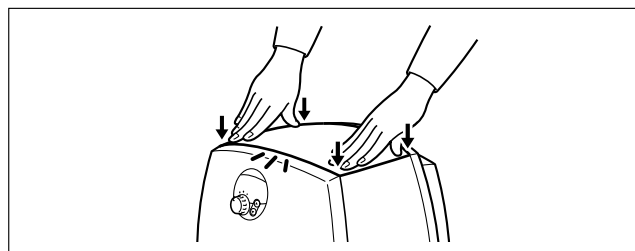
③ファンを拭く

ファンを乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



2 空気吸込み口を取り付ける

必ずカバーの四隅を押して、全ての箇所でもカチッと音がするまで本体にはめ込んでください。

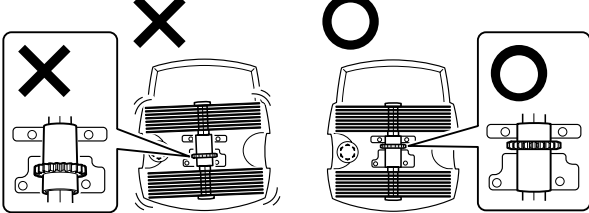
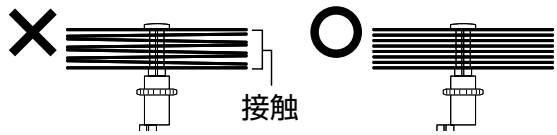



保管する場合は…

お手入れ後、各部が完全に乾いてから組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、下記をもう一度チェックしてみてください。それでも異常があるときは、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください（次頁参照）。ご自分での分解／修理／改造はおやめください。

状 態	考えられる原因	対処のしかた
1. 本体が左右に動く 2. ガタガタと音がする	水槽内に、緩衝材の段ボール（2 枚）が残っている	⇒ 緩衝材の段ボール（2 枚）を取りのぞく（5 ページ参照）。
3. 本体（モーターカバー）が上に浮いている	ディスクユニットが正しく取り付けられていない	⇒ ディスクユニットを正しい向きに取り付ける。  水槽にセットされたディスクユニットを上から見た図
4. ディスクがこすれる音がする	水槽内のシルバースティックが外れかけている	⇒ シルバースティックを正しく取り付け（5 ページ参照）。
	加湿ディスク同士が接触している	⇒ 加湿ディスクをしっかりと芯棒にはめ込む。  ディスクユニットを上から見た図
5. 水が減らない（加湿されない）	水槽の水が空になっている	⇒ タンクに給水する。
	お部屋の湿度が十分（目安：50%程度）で水分が気化しない	⇒ 本機は気化式のためお部屋の空気中に十分な水分がある場合には水は減りません。
	ディスクの石灰分を全て取り除いた	⇒ 1 週間程の連続加湿で加湿能力が元に戻ります（13、15 ページのヒント参照）。
	暖房機による室内環境の変化（温度上昇と乾燥）に加湿が追いついていない	⇒ しばらく様子を見てください。水が減っていれば加湿しています。
6. モーターが動かない（加湿されない）	周辺湿度が設定湿度よりも高い	⇒ 設定湿度を高くするか、「  」（連続加湿・7 ページ参照）運転にしてください。
7. 水を満水にしても給水ランプが点滅する	タンクが正しくセットされていない	⇒ タンクがななめになっていないか確認し、正しくセットしてください。
	電極棒の接触不良	⇒ 本体（モーターカバー）を再度水槽から取りはずし、電源コードなどをはさまないように水槽に取り付けます。
8. ファンやディスクが回転しない	弱で使用している	⇒ 一旦電源スイッチを強「●」に回した後、ゆっくりと弱「●」に回します。それでも回転しない場合は、弊社サービスセンター（次頁参照）までご連絡ください。
9. 異臭がする	水槽やディスクのお手入れが不十分	⇒ 水槽とディスクのお手入れを行う（10～16 ページ参照）。

アフターサービスについて

- 使用中に異常（★）が生じた場合は、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。その後、お求めの販売店またはデロンギ・ジャパン サービスセンター（下記参照）にご相談ください。

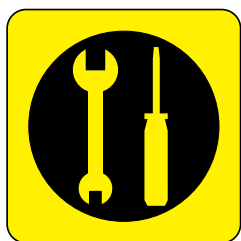
〈★以下のような場合には、点検および修理が必要です〉

- ・使用中、電源コードおよびプラグ、コンセントが異常に熱くなる
- ・電源コード、プラグが変形／破損している
- ・本体の機器内部に水などの液体をこぼした
- ・本体に強い衝撃を与えた
- ・取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

- 万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に1.お求め時期 2.製品名称と型式番号 3.故障の状況——を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ（梱包箱）に同封してください。お送り先については事前にお電話（下記参照）あるいはホームページ（下記参照）にてご確認ください。

- 保証期間中（3年）は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

- 真心点検のお勧め：長い期間で使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。



※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日:

年

月

日

- デロンギ再資源化システムについて



ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担（元払い）となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱（元箱）に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。

※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶（受付時間 土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00）

● コールセンター

修理について……………Tel. 0120-804-280

Tel. 0120-692-885

お問い合わせ……………Tel. 0120-064-300

Tel. 0120-692-880

／ Fax. 045-450-3291

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9 安田倉庫(株)内4号ビル

ホームページでのお問い合わせ（URL）<http://www.delonghi.co.jp>

仕様

製品名称		ボネコ ディスク型 気化式加湿器
型式番号		2055D
定格	電圧	交流100V
	周波数	50/60Hz
	消費電力	「強」運転時：23W（50Hz）、20W（60Hz） 「弱」運転時：12W（50Hz）、11W（60Hz）
適用畳数		～約35畳
加湿能力		約300～375mL/時
タンク・水槽容量		7L（タンク：4.5L、水槽：2.5L）
電源コードの長さ		1.9m
付属品		シルバースティック
外形寸法／重量		幅350×奥行360×高さ375mm／6.5kg
材質		・本体／（黒色部）ABS樹脂、（グレー部）PP樹脂 ・タンク／ABS樹脂

この製品は欧州RoHS指令に適合した製品です。

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合(EU)による指令です。この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。



De'Longhi Forum

イタリアのライフスタイル情報満載！デロンギフォーラム無料会員募集中！

詳しくは <http://www.delonghiforum.jp>**デロンギ・ジャパン株式会社**

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-5-6 第3大東ビル Tel.03-5256-6321（代）